

令和7年度（第8回）三重県廃棄物関係事業功労者表彰 被表彰者

【廃棄物事業功労（個人）】

該当なし

【産業廃棄物事業功労（事業者）】

団体名	法人設立又は事業開始年月	所在地	代表者
株式会社ケー・イー・シー	昭和59年6月	桑名市蓮花寺1635-5	代表取締役 三浦 眞世 (みうら まよ)

事業概要

- 株式会社ケー・イー・シーは、産業廃棄物の最終処分を主な事業とする会社として昭和59年に設立し、平成2年に産業廃棄物の焼却と中和を行う施設を整備して中間処理事業を開始しました。同社の所在する三重県北勢地域の多種多様な産業の事業活動によって排出される性状の異なる産業廃棄物を長年適正な処理を続け、北勢地域の産業にとって重要なインフラとしての役割を担い、産業振興に深く貢献してきた産業廃棄物処理業者である。

功績内容

- 三重県北勢地域には石油化学コンビナートを始めとして、铸物産業や陶磁器産業等の地場産業、自動車部品などの機械器具製造など多様な事業活動が行われており、事業活動にともなってさまざまな産業廃棄物が排出され、適切な処理が求められてきた。排出される産業廃棄物には、性状や有害性によっては処理の難しい廃棄物があり、その受け皿として事業開始当初から地域のニーズに応じられるよう、段階的に取り扱う廃棄物や処理方法の充実を図り、焼却施設や中和処理施設等を整備し、三重県北勢地域の産業にとって必要不可欠なインフラとして産業振興に貢献している。
- 廃棄物処理事業を開始した平成2年から、毎年3月前後に地元自治会及び周辺7地区合同の説明会を実施しており、産業廃棄物処理施設が迷惑施設と呼ばれ地域との良好な関係の構築が困難であった時期から、地域との良好な関係構築を続けていく。この取組が他の処理事業者の模範となるなど、産業廃棄物の処理状況の透明化に貢献している。
- 三重県と（一社）三重県産業廃棄物協会で締結した「災害時におけるがれき等の廃棄物の処理に関する応援協定」及び、「大規模災害時中部ブロック協議会」の枠組に応じ、水害や台風被害による災害廃棄物等の運搬を担い、災害廃棄物等の適正かつ円滑な処理に貢献している。